



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日  
東

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所  
コード番号 5976 URL <https://www.k-neturen.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 大宮 克己  
問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長(氏名) 篠原 秀明 (TEL) 03-3443-5441  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,947	△2.8	1,079	△14.4	1,626	△18.9	888	△32.1
2024年3月期第3四半期	43,163	0.3	1,260	△36.2	2,006	△24.6	1,308	△13.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,155百万円(△46.6%) 2024年3月期第3四半期 4,036百万円(△18.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	25	04	—	—
2024年3月期第3四半期	35	36	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	83,132	64,535	69.9
2024年3月期	80,613	66,471	74.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 58,148百万円 2024年3月期 60,005百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
	銭	銭	銭	銭	銭
2024年3月期	—	24.00	—	25.00	49.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	62,000	8.4	2,000	22.5	2,600	3.5	1,600	3.7	44.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期3Q	37,138,900株	2024年3月期	37,138,900株
2025年3月期3Q	2,658,241株	2024年3月期	934,883株
2025年3月期3Q	35,469,207株	2024年3月期3Q	36,995,194株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績の改善や賃上げ等による雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高止まりや不安定な為替変動、海外では、中国経済の減速や地政学リスクの高まりなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、第16次中期経営計画「Aggressive Challenge One NETUREN 2026」(2024年4月より2027年3月までの3ヵ年計画)に掲げた4つの基本戦略である、

- ①技術開発 : 成長ドライバーの創生
- ②事業 : 成長エンジンの育成
- ③グローバル : グローバルマーケットの拡大
- ④人材 : 自発的貢献意欲のある人材の育成

を推進し、目標達成に向けた取り組みを実行しておりますが、当社グループにおける主要な取引先である建設機械業界及び工作機械業界の市況が低迷していること、自動車関連製品の高強度ばね鋼線において、海外生産拠点での原材料価格の値下がり分を販売価格に反映したことなどで売上高が減少いたしました。また、生産・販売量の減少により固定費負担が増加し、利益を圧迫いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、41,947百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益は、1,079百万円(前年同期比14.4%減)、経常利益は、1,626百万円(前年同期比18.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、888百万円(前年同期比32.1%減)となりました。

引き続き、収益向上のための受注拡大はもとより、高止まりするコストの販売価格への転嫁を含む積極的な営業活動とともに、徹底した原価低減活動を継続し、企業価値の向上に努めてまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 製品事業部関連事業

土木・建築関連製品の売上高は、建設業界の低迷や人手不足、建設資材高騰による工事遅延、着工遅れなどの影響が継続しておりますが、当社の高強度せん断補強筋が採用された建築案件が増加に転じたこと、鋼材、労務費、電力費や輸送費などのコスト上昇分を販売価格へ転嫁したことなどにより、前年同期と比較し増加いたしました。

自動車関連製品の高強度ばね鋼線の売上高は、国内では、一部自動車メーカー等の出荷・生産停止からの挽回生産もあり、比較的堅調に推移しておりますが、海外生産拠点における原材料価格の値下がり分を販売価格に反映した影響などで売上高が減少したことにより、前年同期と比較し減少いたしました。

建設機械関連製品の売上高は、国内、中国ともに建設市況低迷が継続しており、前年同期と比較し減少いたしました。

利益面では、自動車関連製品の減収及び建設機械関連製品の販売量が大幅に減少し固定費負担が増加したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は、26,622百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は、129百万円(前年同期比48.7%減)となりました。

#### ② IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、自動車関連業界からの受注は回復基調で推移しておりますが、建設機械及び工作機械業界において、主要顧客の生産量が減少したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高は、顧客からの設備投資に伴う受注が堅調に推移しており、前年同期と比較し増加、熱処理受託加工関連の減少をカバーいたしました。

利益面では、建設機械向け及び工作機械向け熱処理受託加工関連の減産を自動車向けや装置事業でカバーしきれず固定費負担が増加したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は、15,217百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は、905百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

#### ③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は、106百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は、41百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、83,132百万円(前連結会計年度末比3.1%増)となりました。この主な要因は、棚卸資産が減少しましたが、主に設備投資を目的として金融機関等から長期資金を借入れたことにより現金及び預金が増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、18,597百万円(前連結会計年度末比31.5%増)となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少しましたが、借入金が増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、64,535百万円(前連結会計年度末比2.9%減)となりました。この主な要因は、配当金の支払いや積極的な自己株式取得を実施したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、69.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、「2024年3月期決算短信」(2024年5月9日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,904	17,267
受取手形、売掛金及び契約資産	12,707	12,348
電子記録債権	4,124	4,459
有価証券	276	273
商品及び製品	1,159	1,586
仕掛品	2,845	2,387
原材料及び貯蔵品	3,471	3,439
その他	1,430	1,994
貸倒引当金	△166	△162
流動資産合計	41,753	43,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,769	7,879
機械装置及び運搬具（純額）	5,888	6,079
土地	9,940	9,937
建設仮勘定	1,767	1,430
その他（純額）	702	693
有形固定資産合計	26,067	26,020
無形固定資産		
借地権	925	937
その他	102	92
無形固定資産合計	1,027	1,030
投資その他の資産		
投資有価証券	9,984	11,007
長期貸付金	18	19
退職給付に係る資産	0	-
その他	1,840	1,552
貸倒引当金	△78	△91
投資その他の資産合計	11,765	12,487
固定資産合計	38,860	39,538
資産合計	80,613	83,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,958	3,443
電子記録債務	4,149	2,911
短期借入金	670	1,867
未払法人税等	542	243
賞与引当金	685	404
役員賞与引当金	13	26
役員株式給付引当金	17	7
その他	2,756	3,370
流動負債合計	12,794	12,275
固定負債		
長期借入金	16	4,860
役員株式給付引当金	8	8
退職給付に係る負債	36	12
その他	1,287	1,439
固定負債合計	1,348	6,321
負債合計	14,142	18,597
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	1,725	1,719
利益剰余金	46,397	45,499
自己株式	△816	△2,596
株主資本合計	53,724	51,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,392	3,077
為替換算調整勘定	3,547	3,716
退職給付に係る調整累計額	341	312
その他の包括利益累計額合計	6,281	7,106
非支配株主持分	6,465	6,387
純資産合計	66,471	64,535
負債純資産合計	80,613	83,132

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	43,163	41,947
売上原価	35,688	34,402
売上総利益	7,475	7,544
販売費及び一般管理費	6,215	6,465
営業利益	1,260	1,079
営業外収益		
受取利息	114	104
受取配当金	184	183
持分法による投資利益	112	112
為替差益	99	25
スクラップ売却益	122	102
その他	159	85
営業外収益合計	794	614
営業外費用		
支払利息	43	36
その他	4	30
営業外費用合計	47	67
経常利益	2,006	1,626
特別利益		
固定資産売却益	11	11
投資有価証券売却益	200	0
受取保険金	12	12
補助金収入	-	10
その他	0	1
特別利益合計	225	35
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	10	39
投資有価証券売却損	58	-
その他	3	0
特別損失合計	72	39
税金等調整前四半期純利益	2,159	1,622
法人税等	542	447
四半期純利益	1,617	1,175
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,308	888
非支配株主に帰属する四半期純利益	309	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	673
為替換算調整勘定	1,897	349
退職給付に係る調整額	△17	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	313	△14
その他の包括利益合計	2,419	980
四半期包括利益	4,036	2,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,346	1,713
非支配株主に係る四半期包括利益	689	442

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年同期の第3四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,073	14,984	43,058	105	43,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16	16	—	16
計	28,073	15,000	43,074	105	43,180
セグメント利益	252	961	1,213	43	1,256

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,213
「その他」の区分の利益	43
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,260

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,622	15,217	41,840	106	41,947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	31	31	—	31
計	26,623	15,248	41,871	106	41,978
セグメント利益	129	905	1,034	41	1,076

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,034
「その他」の区分の利益	41
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,079

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,774百万円	1,695百万円
のれんの償却額	—	—